

2023年度 休眠預金資金活用・草の根活動支援事業
「地方都市・農山村におけるコミュニティの持続的発展～地域社会の底力発揮～」

【1】申請団体一覧

申請受付NO.	申請団体	所在地	事業名	事業概要
①	NPO法人えんまる	長野県	コミュニティプラットフォームによるつながり事業	孤立困窮する子どもや若者、ヤングケアラーを対象としたつながり支援、困窮孤立家庭へアウトリーチ支援を行うとともに、包括的に支援を行う体制作りとして、コミュニティプラットフォームを構築し、豊かな地域社会を実現する。
②	認定NPO法人人と動物の共生センター	岐阜県	生活困窮者ペット飼育問題を支える、コミュニティプラットフォーム	生活困窮者のペット飼育を原因とする医療・福祉サービスの疎外、経済困窮加速、近所トラブルによる孤立化などの問題に対して支援を行い、それらを支えるコミュニティプラットフォームを構築、政策提言にも取り組み、問題の早期解決と持続可能な支援体制を実現する。
③	NPO法人トルシーダ	愛知県	きてみてきて、保見団地で体験する多様性の豊かさ発信プロジェクト	日本語教室、相談・食材配布、交流の場づくりなどの活動により、国籍、年代、性別、文化など、地域にある多様性の豊かさを住民が認識し、多様性は課題ではなく、豊かな資源として発信する。また、同じような課題を抱えた地域に波及し、日本社会全体の底上げにつながることを目指す。
④	中部異業種間リサイクルネットワーク協議会	石川県	遊休資源活用の伊自良里山リトリートbyサステナツurizm	サステナブルツーリズム案内チラシ作成in伊自良モデルを通じて社会関係資本と自然資本の有効活用を可視化し、中部の観光、昇龍道プロジェクトと連携する。インバウンド、アウトバウンドと五次産業活性化を通じて足元の生活圏を見直し、休眠預金の有効活用を実証しながら奥能登復興に繋げる。
⑤	ひふみコーチ株式会社	岐阜県	岐阜県恵那市恵南地域におけるグローバルな「新しい学校」を中心としたコミュニティ形成事業	岐阜県恵那市恵南地区において、グローバルな「新しい学校」を中心としたコミュニティ形成を行い、当該地域の事実上の不登校者数が減少するとともに、教育移住が進み、地区全体が活性化している。
⑥	NPO法人子どもサポートチームすわ	長野県	行政の手が行き届かない不登校やひきこもりの若者たちに、生きる力を取り戻す支援をするCPF作り事業	不登校やひきこもりの子ども・若者たちが、生きる力を取り戻す支援が拡充された地域・社会になる。本事業を通して、支援対象者の進学や就労支援に繋げていく。特産品の商品化、農作物・二次加工品の販売により、継続的に財源を確保する。防災設備を導入し、誰もが安心して避難できるコミュニティーを確立する。財源と人員の確保をし、支援対象者に包括的支援を継続して実施する。
⑦	株式会社マークス	愛知県	SDG s 大学地方創生学部SDGsCAMPin三重	CPFの活用によりSDG s ×地方創生の成功事例となる。経済・社会・環境の3側面が調和された持続可能な地域社会を創造する。持続可能なビジネスモデルの確立・起業家支援・収益創出を行う。地域限定の事業「点」から、都市部など他の地域の課題を相互に解決する「線」の事業の設計、実施する。
⑧	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	岐阜県	誰一人取り残さない！オール飛騨で地域ぐるみの子育て支援環境を！	広大な地域で点在し孤立しがちな子育てに課題を抱える家庭を対象に、子育て情報システムの構築、地域を越えた育児支援を通し、地域連携体制を構築するとともに、集落ベースでの人材の発掘・育成に取り組み、地域コミュニティの福祉力の向上を目指す。
⑨	一般社団法人SEIMA137	岐阜県	持続可能な自立・分散型の循環共生コミュニティネットワークの構築	衣・食・住・教育・心體・藝の6分野において自分たちで安心して暮らす社会を生み出す自立、ネットワーク内・外循環の仕組みの構築、各分野における体験の場の企画、暮らしの6分野が繋がる祭りの開催、こどもからおとなまで安心して過ごせる第3の居場所づくりなど。

【2】選定団体一覧 ※助成額は実行団体よりご提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算出しています。

申請受付NO.	申請団体	所在地	事業名	事業概要	選定理由	助成額（直接・管理・評価）
①	NPO法人えんまる	長野県	コミュニティプラットフォームによるつながり事業	孤立困窮する子どもや若者、ヤングケアラーを対象としたつながり支援、困窮孤立家庭へアウトリーチ支援を行うとともに、包括的に支援を行う体制作りとして、コミュニティプラットフォームを構築し、豊かな地域社会を実現する。	これまで取り組んできた社会課題に対して、コミュニティプラットフォーム（CPF）の構築を通して、一層支援を充実させていく重要な事業と評価した。地縁組織との連携に、チームの現場団体のネットワークを活かして取り組むことで、セーフティネットがさらにきめ細かく機能することが期待できる。	直接事業費 20,436,604円 管理的経費 1,626,844円 評価関連費 1,050,000円 助成金総額 23,113,448円
②	認定NPO法人人と動物の共生センター	岐阜県	生活困窮者ペット飼育問題を支える、コミュニティプラットフォーム	生活困窮者のペット飼育を原因とする医療・福祉サービスの疎外、経済困窮加速、近所トラブルによる孤立化などの問題に対して支援を行い、それらを支えるコミュニティプラットフォームを構築、政策提言にも取り組み、問題の早期解決と持続可能な支援体制を実現する。	目の前の課題に対して何をすればよいか、はっきり理解・把握されている。ステークホルダーマップも非常に明瞭で、行政へのさまざまな働きかけを模索されている点も評価した。ペット後見と遺贈寄付など、ソーシャルビジネスの視点も含まれるので、それらが事業の持続性に寄与し、地域とのつながりを強めていく活動になることが期待できる。	直接事業費 24,376,000円 管理的経費 4,024,000円 評価関連費 1,412,000円 助成金総額 29,812,000円
⑧	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	岐阜県	誰一人取り残さない！オール飛騨で地域ぐるみの子育て支援環境を！	広大な地域で点在し孤立しがちな子育てに課題を抱える家庭を対象に、子育て情報システムの構築、地域を越えた育児支援を通し、地域連携体制を構築するとともに、集落ベースでの人材の発掘・育成に取り組み、地域コミュニティの福祉力の向上を目指す。	飛騨の子育て支援に関して、自治体の制度だけではカバーできない部分を、地域を超え取り組みたいという熱意が伝わってきた。「オール飛騨で誰一人取り残さない」という目標は大切なことであり、支援の輪が広がっていくことが期待できる。	直接事業費 20,926,255円 管理的経費 1,544,780円 評価関連費 1,066,000円 助成金総額 23,537,035円

【3】選定過程

	公募・審査の実施概要	特記事項
2023年12月1日	公募要領の公開（WEBサイト等）	
12月1日～ 24年2月5日	公募期間	
12月6日、11日	公募説明会（Zoom）の開催	計63名が参加。
12月13、16日 24年1月10日	個別相談会（Zoom）の開催	1団体あたり30分、計10団体が相談会に参加。 別途、メールでの個別相談にも対応。
2月5日～ 2月28日	書類審査	計9チームが応募。
2月29日	選定会議（外部審査員による候補チームの選定）	
3月11日	23年度第5回理事会にて3チームを内定団体に決定	